

## 講義シラバス

|     |               |              |   |          |    |          |     |      |       |
|-----|---------------|--------------|---|----------|----|----------|-----|------|-------|
| 科目名 | プロフェッショナルへの道Ⅳ | 必修<br>選択の別   | 必修  | 開講<br>区分 | 4S | 授業<br>形態 | 演習  | 総時間数 | 30 時間 |
| 学科  | ヘアメイク科        | コース          |   |          |    | 学年       | 2年生 |      |       |
| 講師名 | 加藤 雅子         | 講師<br>プロフィール | 札幌大学にて英語および中国語を専攻。卒業後、中国・広東省の大学日本語学科において専属講師として勤務し、日本語教育に従事する。帰国後は一般企業での実務経験をj経て、現在に至る。 |          |    |          |     |      |       |

### 【授業を通じての到達目標】

目標に向けて業界の基礎知識を学び、身構え、気構え、心構えを身に付け就職内定に繋げる。  
社会人の仕組みやマナーを理解し、多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎力、対応力を身に付ける。

### 【学習内容】

就職活動についてのマナーや具体的なビジョンをグループディスカッションを通して考え、行動する。  
社会の仕組みや働くという事を仕組みやマナー・業界講和などからイメージし、目的を理解し、自身の目標を組み立てるようにする。

### 【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具、ノート、授業プリントなど

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

| 日時           | 授業計画  | 日時   | 授業計画   |
|--------------|---|--|--|
| ①<br>(9/29)  | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人として必要な基礎力を確認し自己の能力を伸ばすアクションプランを立てる①<br>・目標設定                               | ⑨<br>(11/24)   | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人基礎力②<br>第4章 社会人基礎力を高める<br>創造力・発信力・傾聴力       |
| ②<br>(10/6)  | 【到達目標】 小テスト2<br>社会人として必要な基礎力を確認し自己の能力を伸ばすアクションプランを立てる②<br>主体性と協調性を身につける①<br>・学園祭準備<br>・目標振り返り | ⑩<br>(12/1)  | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人基礎力③<br>状況把握力・柔軟性・規律力・ストレコントロール力<br>・目標振り返り |
| ③<br>(10/13) | 【到達目標】 小テスト2<br>主体性と協調性を身につける②<br>学園祭準備   | ⑪<br>(12/8)  | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人にむけてアクションプランを確認する①<br>・グループワーク              |
| ④<br>(10/20) | 【到達目標】 小テスト2<br>主体性と協調性を身につける③<br>学園祭準備   | ⑫<br>(12/15)   | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人にむけてアクションプランを確認する②<br>・グループワーク              |
| ⑤<br>(10/27) | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人にむけてアクションプランを実践する①<br>・グループワーク<br>・学園祭振り返り<br>・目標振り返り                      | ⑬<br>(12/22)   | 【到達目標】 小テスト3<br>・卒業発表準備<br>・目標振り返り                             |
| ⑥<br>(11/3)  | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人にむけてアクションプランを実践する②<br>・グループワーク<br>・プレゼンテーション<br>・目標振り返り                    | ⑭<br>(1/19)  | 【到達目標】<br>・卒業発表準備  |
| ⑦<br>(11/10) | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人にむけてアクションプランを実践する③<br>・グループワーク<br>・プレゼンテーション                               | ⑮<br>(1/26)  | 【定期試験】60<br>定期試験 筆記  |
| ⑧<br>(11/17) | 【到達目標】 小テスト3<br>社会人基礎力①<br>第4章 社会人基礎力を高める<br>主体性・働きかけ力・課題発見力・計画力                              | 【成績評価の方法と基準】<br>●小テスト40点/定期試験60点<br>●評価<br>A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)<br>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)<br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 |  |

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

## 講義シラバス

|     |                |              |   |          |    |          |     |      |       |
|-----|----------------|--------------|---|----------|----|----------|-----|------|-------|
| 科目名 | プロフェッショナルメイクⅡ  | 必修<br>選択の別   | 必修  | 開講<br>区分 | 4S | 授業<br>形態 | 実習  | 総時間数 | 60 時間 |
| 学科  | ヘアメイク科         | コース          |   |          |    | 学年       | 2年生 |      |       |
| 講師名 | 松丸 亜弥美<br>伊藤 惇 | 講師<br>プロフィール | ヘアメイクサロン経営。テレビ番組・広告・ブライダル・撮影なども行っている。都内スタジオ勤務後、独立。活動拠点を出身地である札幌に移す。 |          |    |          |     |      |       |

### 【授業を通じての到達目標】

今まで学んだメイクの基礎を活かし応用、より質の高い技術力と多様な現場に必要な実践力を身につける。一人一人の強みを理解し、業界で活躍する即戦力になる。

### 【学習内容】

色んな方の肌に触れ、会話することでメイクのスキルやコミュニケーション力を身に付ける。

### 【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式・筆記用具

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

・事前準備(授業前までに確認)・期日までに課題提出

| 日時           | 授業計画                                 | 日時  | 授業計画                              |
|--------------|--------------------------------------|---|-----------------------------------|
| ①<br>(9/16)  | 【到達目標】<br>オリエンテーション<br>後期の授業流れや概要を説明 | ⑨<br>(11/18)  | 【到達目標】<br>ブライダル撮影(実施日 変更有)        |
| ②<br>(9/30)  | 【到達目標】<br>アイドルプロジェクト！(起案/コンセプト)①     | ⑩<br>(11/25)  | 【到達目標】<br>ブランドリサーチ①               |
| ③<br>(10/7)  | 【到達目標】<br>アイドルプロジェクト！(練習)②           | ⑪<br>(12/2)   | 【到達目標】<br>ブランドリサーチ②               |
| ④<br>(10/14) | 【到達目標】<br>アイドルプロジェクト！(本番)③           | ⑫<br>(12/9)   | 【到達目標】<br>コンセプトに沿った作品の構成を細部まで考える③ |
| ⑤<br>(10/21) | 【到達目標】<br>ヘアケア商品 広告撮影①               | ⑬<br>(12/16)  | 【到達目標】<br>コンセプトに沿った作品の構成をチームで練習④  |
| ⑥<br>(10/28) | 【到達目標】<br>ヘアケア商品 広告撮影②               | ⑭<br>(1/20)   | 【定期試験】<br>コンセプトに沿った作品を撮影⑤         |
| ⑦<br>(11/4)  | 【到達目標】<br>ヘアケア商品 広告撮影③               | ⑮<br>(1/27)   | 【定期試験】<br>コンセプトに沿った作品をプレゼンテーション⑥  |
| ⑧<br>(11/11) | 【到達目標】<br>ブライダル撮影(実施日 変更有)           | 【成績評価の方法と基準】  |                                   |
|              |                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト40点/定期試験60点</li> <li>●評価<br/>A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)<br/>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法<br/>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul> |                                   |

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

名札・必須道具の忘れ物は小テストよりマイナスとする。

## 講義シラバス

|     |              |              |   |          |    |          |     |      |       |
|-----|--------------|--------------|---|----------|----|----------|-----|------|-------|
| 科目名 | プロフェッショナルヘアⅡ | 必修<br>選択の別   | 必修  | 開講<br>区分 | 4S | 授業<br>形態 | 実習  | 総時間数 | 60 時間 |
| 学科  | ヘアメイク科       | コース          |   |          |    | 学年       | 2年生 |      |       |
| 講師名 | 岸田知紘         | 講師<br>プロフィール | 札幌ビューティ・メイク専門学校卒業。美容師免許取得。卒業後、(株)田谷に入社。ヘアセット歴18年。フリーランスのヘアメイク・ヘアセット講師・着付け師として活動の場を広げています。 |          |    |          |     |      |       |

### 【授業を通じての到達目標】

現場力となるために学んできた技術と現場で必要な知識を活かす。  
一人一人の強みを理解し、業界で活躍する即戦力になる。

### 【学習内容】

基礎から応用への繋がり。TPOを理解する。接客・カウンセリング・施術・サロンワークなどヘアセットを取り巻く、実践的な授業。

### 【使用教科書・教材・参考図書】

セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ダッカール・ピン類  
黒ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレーヘアア  
イロン・テールコム

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

| 日時                     | 授業計画   | 日時   | 授業計画                                       |
|------------------------|--|--|--|
| ①<br>(9/17)            | 【到達目標】<br>ファッションに合わせたスタイル 1<br>小テスト 4点           | ⑨<br>(11/19)   | 【到達目標】<br>ヘアメイクサロン<br>実践<br>小テスト 4点        |
| ②<br>(10/2)            | 【到達目標】<br>ファッションに合わせたスタイル 2<br>小テスト 4点           | ⑩<br>(11/26)   | 【到達目標】<br>メンズカット&セット<br>小テスト 2点            |
| ③<br>(10/8)            | 【到達目標】<br>サロンワークでオーダーの多いヘアセット 1<br>小テスト 4点       | ⑪<br>(12/3)  | 【到達目標】<br>かっこいいを作る(ウィッグ)<br>小テスト 3点        |
| ④<br>(10/15)           | 【到達目標】<br>サロンワークでオーダーの多いヘアセット 2<br>小テスト 4点       | ⑫<br>(12/10)   | 【到達目標】<br>日本髪について/デモンストレーション/実技<br>小テスト 3点 |
| ⑤<br>(10/22)           | 【到達目標】<br>小テスト 2点                                | ⑬<br>(12/17)   | 【到達目標】<br>日本髪アレンジの構成を考える<br>小テスト 2点        |
| ⑥<br>(10/29)           | 【到達目標】<br>ヘアメイクサロン<br>成人式トレンドヘア<br>小テスト2点        | ⑭<br>(1/21)  | 【到達目標】<br>定期試験 練習<br>小テスト 2点               |
| ⑦<br>(11/5)            | ヘアメイクサロン<br>成人式トレンドヘア/飾りの付け方・見せ方<br>小テスト 2点      | ⑮<br>(1/28)  | 【定期試験】60<br>定期試験                           |
| ⑧<br>(11/12)           | 【到達目標】<br>ヘアメイクサロン<br>サロンワーク 練習(相モデル)<br>小テスト 2点 | 【成績評価の方法と基準】<br>●小テスト40点/定期試験60点<br>●評価<br>A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)<br>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)<br><br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 |  |
| 名札・忘れ物は 小テストより マイナスとする |  |  |  |

## 講義シラバス

|   |   |              |   |          |  |  |     |      |       |
|---|---|--------------|---|----------|--|--|-----|------|-------|
| 科目名   | ヘアショークリエイト  | 必修<br>選択の別   | 必修  | 開講<br>区分 | 4S   | 授業<br>形態   | 実習  | 総時間数 | 60 時間 |
| 学科  | ヘアメイク科  | コース          |   |          |  | 学年   | 2年生 |      |       |
| 講師名   | メイクアップアトリエ<br>箱石結衣・森夏子<br><br>國枝知夏  | 講師<br>プロフィール | メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。 |          |  |  |     |      |       |
| 【授業を通じての到達目標】   |   |              |   |          |  |  |     |      |       |
| ステージに合うクリエイティブな技術を学び、チームでヘアメイク・ファッションをトータルで表現できる実践力を身につける<br>チームで1つの作品を作り上げ、チームワークを学び作品をよりよく見せるための演出ができるようになる |   |              |   |          |  |  |     |      |       |
| 【学習内容】  |   |              |   |          |  |  |     |      |       |
| クリエイティブヘアショーに必要な技術や知識を学ぶ  |   |              |   |          |  |  |     |      |       |
| 【使用教科書・教材・参考図書】   |   |              |   |          | 【授業時間外における学習・宿題・課題など】  |  |     |      |       |
| ヘアメイク道具一式   |   |              |   |          |  |  |     |      |       |
| 日時  | 授業計画  |              |   |          | 日時   | 授業計画   |     |      |       |
| ①<br>(9/15)   | 【到達目標】 小テスト1点<br><br>ショーについての知識を広げることができるようになる。<br>クリエイティブヘアメイクショーのテーマを決める                    |              |   |          | ⑨<br>(11/17)   | 【到達目標】 小テスト3点<br><br>Aチーム練習、構成考える、照明練習/Bチームはヘアメイクや構成、衣装準備<br>★國枝先生 |     |      |       |
| ②<br>(9/29)   | 【到達目標】 小テスト2点<br><br>決めたテーマの模写ヘアメイク   |              |   |          | ⑩<br>(11/24)   | 【到達目標】 小テスト3点<br><br>Bチーム練習、構成考える、照明練習/Aチームはヘアメイクや構成、衣装準備<br>★國枝先生 |     |      |       |
| ③<br>(10/6)   | 【到達目標】 小テスト2点<br><br>ヘアショーについて話し合いをすすめる。<br>チーム分けと具体的なヘアメイク案、音楽、衣装、ウォーキング、照明、演出などの構成<br>★國枝先生 |              |   |          | ⑪<br>(12/1)  | 【到達目標】 小テスト3点<br><br>ヘアメイク・衣装・音楽・照明含めて、通し練習                        |     |      |       |
| ④<br>(10/13)  | 【到達目標】 小テスト2点<br><br>ヘアショーについて話し合いをすすめる。<br>チーム分けと具体的なヘアメイク案、音楽、衣装、ウォーキング、照明、演出などの構成<br>★國枝先生 |              |   |          | ⑫<br>(12/8)  | 【到達目標】 小テスト3点<br><br>ヘアメイク・衣装・音楽・照明含めて、通し練習                        |     |      |       |
| ⑤<br>(10/20)  | 【到達目標】 小テスト2点<br><br>各チーム考えた構成を元にウォーキング練習・具体的に構成を考える  |              |   |          | ⑬<br>(12/15)   | 【到達目標】 中間チェック 6点<br><br>本番同様にリハーサルをすることができる ★國枝先生                  |     |      |       |
| ⑥<br>(10/27)  | 【到達目標】 小テスト2点<br><br>各チームで構成、ヘアメイク練習・その他準備  |              |   |          | ⑭<br>(1/19)  | 【到達目標】 小テスト5点<br><br>本番同様にリハーサルをすることができる ★國枝先生                     |     |      |       |
| ⑦<br>(11/3)   | 【到達目標】 小テスト0点<br><br>ショー当日へ振替えのため、授業なし  |              |   |          | ⑮<br>(1月)  | 【定期試験】60<br><br>本番、定期試験<br><br>★國枝先生                               |     |      |       |
| ⑧<br>(11/10)  | 【到達目標】 中間チェック6点<br><br>ヘアメイクを各チーム仕上げる、音楽、構成   |              |   |          | 【成績評価の方法と基準】<br>●小テスト40点/定期試験60点<br>●評価<br>A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)<br>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)<br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 |  |     |      |       |
| 【履修に当たっての心構え・留意点】   |   |              |   |          |  |  |     |      |       |

## 講義シラバス

|     |              |              |  |          |    |          |     |      |       |
|-----|--------------|--------------|--|----------|----|----------|-----|------|-------|
| 科目名 | トータルコーディネートⅢ | 必修<br>選択の別   | 必修   | 開講<br>区分 | 4S | 授業<br>形態 | 実習  | 総時間数 | 30 時間 |
| 学科  | ヘアメイク科       | コース          |  |          |    | 学年       | 2年生 |      |       |
| 講師名 | 國枝知夏         | 講師<br>プロフィール | 東京でフリースタイリストとして老若男女問わず、タレント、アーティスト、俳優の方々に担当しCM・映画・ドラマ・バラエティ・雑誌・MV・ショーなど様々な現場に20年程携わる |          |    |          |     |      |       |

**【授業を通じての到達目標】**

撮影・ショーなど目的に応じた衣装選定と演出、モデルの個性を活かしたスタイリング提案ができる

**【学習内容】**

前期から得た知識と合わせオリジナルの衣装(ブランド)を作りより良く見せる演出と提案ができるようになる

**【使用教科書・教材・参考図書】**

筆記用具・スマホ又はタブレット・ヘアメイカー式・裁縫道具・ミシン(その他)

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

| 日時           | 授業計画  | 日時  | 授業計画  |
|--------------|---|---|---|
| ①<br>(9/17)  | 【到達目標】小テスト2点<br>シラバスと後期講義の流れについての確認 各骨格について理解することができる                           | ⑨<br>(11/19)  | 【到達目標】小テスト2点<br>計画に沿って作業を進めることができる                                    |
| ②<br>(10/1)  | 【到達目標】小テスト3点<br>骨格パターンを理解し各骨格に合わせ小物を取り入れたスタイリングを組むことが出来る                        | ⑩<br>(11/26)  | 【到達目標】小テスト2点<br>計画に沿って作業を進めることができる                                    |
| ③<br>(10/8)  | 【到達目標】小テスト5点<br>モデルの骨格を理解し小物も取り入れたトータルスタイリングを完成させることができる(発表)                    | ⑪<br>(12/3)   | 【到達目標】小テスト3点<br>計画に沿って作業を進めることができる 進捗状況を把握し計画修正することができる               |
| ④<br>(10/15) | 【到達目標】小テスト3点<br>実践に活かせる縫い方ができるようになる   | ⑫<br>(12/10)  | 【到達目標】小テスト2点<br>計画に沿って作業を進めることができる                                    |
| ⑤<br>(10/22) | 【到達目標】小テスト3点<br>実践に活かせる縫い方ができるようになる   | ⑬<br>(12/17)  | 【到達目標】小テスト3点<br>計画に沿って作業を進めることができる(衣装完成させる)                           |
| ⑥<br>(10/29) | 【到達目標】小テスト2点<br>ブランディングとプロモーションを理解することができる                                      | ⑭<br>(1/21)   | 【到達目標】小テスト5点<br>制作した衣装の世界観をより引き立たせるヘア・メイク・小物使いでモデルに合わせたトータルスタイリングができる |
| ⑦<br>(11/5)  | 【到達目標】小テスト3点<br>[撮影やショーに映える衣装とは]を理解し衣装制作に向けイメージを表現し(デザイン画提出)衣装完成までの計画を立てることができる | ⑮<br>(1/28)   | 【定期試験】60<br>制作した衣装の世界観の(ブランディングプロモーション)撮影と写真提出                        |
| ⑧<br>(11/12) | 【到達目標】小テスト2点<br>計画に沿って作業を進めることができる  | <b>【成績評価の方法と基準】</b><br>●小テスト40点/定期試験60点<br>●評価<br>A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)<br>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)<br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 |   |

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

忘れ物、授業態度も小テストの点数に反映します 自身のコーディネートを

## 講義シラバス

|     |              |          |   |      |    |      |     |      |       |
|-----|--------------|----------|---|------|----|------|-----|------|-------|
| 科目名 | アシスタントプログラムⅣ | 必修選択の別   | 必修  | 開講区分 | 4S | 授業形態 | 実習  | 総時間数 | 30 時間 |
| 学科  | ヘアメイク科       | コース      |   |      |    | 学年   | 2年生 |      |       |
| 講師名 | 松本奏絵         | 講師プロフィール | 札幌ベルエポック美容専門学校ヘアメイク科を卒業後、ヘアメイク事務所に所属。現在はフリーランスでブライダルをメインに活動 |      |    |      |     |      |       |

### 【授業を通じての到達目標】

現場実習、就職に備えて、お客様・クライアントの要望に応えられる技術力、臨機応変な対応ができるようになる。  
就職してからの心構えや実習前の準備をできるようにする。

### 【学習内容】

アシスタントとしての必要な知識、技術を身につける。社会に出た時に通用する技術を学ぶ。

### 【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具、筆記用具、SNS

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

| 日時           | 授業計画  | 日時   | 授業計画   |
|--------------|---|--|--|
| ①<br>(9/17)  | 【到達目標】<br>講師、生徒の自己紹介、就職状況の確認                    | ⑨<br>(11/19)   | 【到達目標】<br>モデルの顔を立ちを理解してヘアメイクの再現ができるようになる         |
| ②<br>(10/1)  | 【到達目標】<br>基本的なヘアの技術のチェック                        | ⑩<br>(11/26)   | 【到達目標】<br>モデルの顔を立ちを理解してヘアメイクの再現ができるようになる         |
| ③<br>(10/8)  | 【到達目標】<br>基本的なメイクの技術のチェック                       | ⑪<br>(12/3)  | 【到達目標】<br>モデルの顔立ちと逆のテイストのメイクの仕方を学ぶ               |
| ④<br>(10/15) | 【到達目標】<br>アシスタントとしての立ち振る舞いを学ぶ                   | ⑫<br>(12/10)   | 【到達目標】<br>モデルの顔立ちと逆のテイストのメイクの仕方を学ぶ               |
| ⑤<br>(10/22) | 【到達目標】<br>実際の現場を想定したスピーディーなヘアメイクができるようになる(3人1組) | ⑬<br>(12/17)   | 【到達目標】<br>定期試験練習                                 |
| ⑥<br>(10/29) | 【到達目標】<br>スタイリング剤の使い分けを学ぶ                       | ⑭<br>(1/21)  | 【到達目標】<br>SNSに載せることを想定したヘアメイク、写真や投稿の載せ方(定期試験①)   |
| ⑦<br>(11/5)  | 【到達目標】<br>外の撮影を想定したヘアセットを学ぶ                     | ⑮<br>(1/28)  | 【到達目標】60<br>SNSに載せることを想定したヘアメイク、写真や投稿の載せ方(定期試験②) |
| ⑧<br>(11/12) | 【到達目標】<br>外の撮影を想定したヘアセット(中間チェック)                | 【成績評価の方法と基準】<br>●小テスト40点/定期試験60点<br>●評価<br>A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)<br>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)<br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 |  |

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

授業内容は変更になる場合がありますので随時teamsで連絡します

## 講義シラバス

|     |                                |              |  |          |    |          |     |      |       |
|-----|--------------------------------|--------------|--|----------|----|----------|-----|------|-------|
| 科目名 | ヘアメイク総合技術Ⅲ<br>(クリエイティブメイクスタイル) | 必修<br>選択の別   | 必修   | 開講<br>区分 | 4S | 授業<br>形態 | 実習  | 総時間数 | 60 時間 |
| 学科  | ヘアメイク科                         | コース          | ヘアメイク専攻  |          |    | 学年       | 2年生 |      |       |
| 講師名 | メイクアップアトリエ<br>宍戸優・本間乙葉         | 講師<br>プロフィール | メイクアップアトリエは札幌を中心に、CM・広告・TV・撮影現場・ファッションショー・舞台・ドラマ・ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の方々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師を務めるなど多岐にわたる活動をしています。<br>また、世界4大コレクションである【NYコレクション】のJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。 |          |    |          |     |      |       |

**【授業を通じての到達目標】**

自由な発想でクリエイティブヘアメイクスタイルを表現できる技術を身に付ける。ヘアメイクアーティストに必要な知識とし技術の向上で現場で必要な実践力を身に付ける。また様々なシチュエーションに合わせたヘアメイクができるようになる。

**【学習内容】**

ヘアメイクアーティストとして自由な発想でスタイルを表現し、現場で即戦力となる。  
基礎技術、トレンド技術、表現力、コミュニケーションを総合的に学ぶ。

**【使用教科書・教材・参考図書】**

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

メイク道具一式・筆記用具

| 日時   | 授業計画  | 日時   | 授業計画   |
|--|---|--|--|
| ①<br>9/14  | 【到達目標】 小テスト3点<br>オリエンテーション、科目の必要性を知る。ベースメイクパターンを知る。相モデル   | ⑨<br>11/16   | 【到達目標】<br>音楽をテーマにヘアメイクを相モデルで実技① 中間チェック1組目10点   |
| ②<br>9/28  | 【到達目標】 小テスト3点<br>ファッションショー想定ヘアメイクを相モデルで練習<br>ショーではブランドごとの統一感、質感、表現など重要になる。周りのヘアメイクをよく見て必要なポイントを見極める事ができるようになる。    | ⑩<br>11/23   | 【到達目標】<br>音楽をテーマにヘアメイクを相モデルで実技② 中間チェック2組目10点   |
| ③<br>10/5  | 【到達目標】 小テスト3点<br>ファッションショー想定ヘアメイクを相モデルで実技①  | ⑪<br>11/30   | 【到達目標】 小テスト3点<br>春夏秋冬をテーマにヘアメイク 相モデル実技① ※練習無しぶっつけ本番<br>クライアントから求められるイメージを瞬時に捉え、作品として表現する事ができる。 |
| ④<br>10/12   | 【到達目標】 小テスト3点<br>ファッションショー想定ヘアメイクを相モデルで実技②  | ⑫<br>12/7  | 【到達目標】 小テスト3点<br>春夏秋冬をテーマにヘアメイク 相モデル実技② ※練習無しぶっつけ本番<br>クライアントから求められるイメージを瞬時に捉え、作品として表現する事ができる。 |
| ⑤<br>10/19   | 【到達目標】 小テスト3点<br>絵画をテーマにヘアメイク構想を練る 相モデルで練習<br>歴史や画家、有名な絵や技法、背景を調べたりそこからインスピレーションをもってヘアメイクデザインを行い、発想・表現力を広げる事ができる。 | ⑬<br>12/14   | 【到達目標】<br>属性(火・水・風・雷・光)テーマにヘアメイク構想を練る 相モデルでテスト練習   |
| ⑥<br>10/26   | 【到達目標】 小テスト3点<br>絵画をテーマにヘアメイク実技 相モデルで実技①  | ⑭<br>1/18  | 【定期試験】60<br>属性(火・水・風・雷・光)テーマに相モデルで実技 テスト①  |
| ⑦<br>11/2  | 【到達目標】 小テスト3点<br>絵画をテーマにヘアメイク実技 相モデルで実技②  | ⑮<br>1/25  | 【定期試験】60<br>属性(火・水・風・雷・光)テーマ相モデルで実技 テスト②   |
| ⑧<br>11/9  | 【到達目標】 小テスト3点<br>音楽をテーマにヘアメイク構想を練る 相モデル練習<br>目に見えないイメージをいかに分かりやすく、ヘアメイクデザインとして表現し小さく収まらない大胆な作品を作る事ができるようになる。      | 【成績評価の方法と基準】<br>●小テスト40点/定期試験60点<br>●評価<br>A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)<br>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)<br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 |  |
| <b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>   |   |  |  |
| 忘れ物や準備不足、相モデルに対して施術のしづらい言動・行動、授業運営を妨げる行為などは、自己管理不十分・迷惑行為とし、小テストの減点対象となります。 |   |  |  |

## 講義シラバス

|  |  |              |   |          |   |  |     |      |       |
|--|--|--------------|---|----------|---|--|-----|------|-------|
| 科目名  | ヘアメイク総合技術Ⅲ<br>(ヘア研究)   | 必修<br>選択の別   | 必修  | 開講<br>区分 | 4S  | 授業<br>形態   | 講義  | 総時間数 | 60 時間 |
| 学科   | ヘアメイク科   | コース          | ヘアメイク専攻   |          |   | 学年   | 1年生 |      |       |
| 講師名  | メイクアップアトリエ<br>箱石結衣・蓮川まゆ  | 講師<br>プロフィール | メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。 |          |   |  |     |      |       |
| <b>【授業を通じての到達目標】</b>   |  |              |   |          |   |  |     |      |       |
| ヘアの応用を学び、様々なヘアに対応し現場で活躍出来るようになる。現場に必要な人間力を身に付け、現場にいけるようになる。撮影技術を学び様々なシーンの撮影に対応できる技術を身につける。 |  |              |   |          |   |  |     |      |       |
| <b>【学習内容】</b>  |  |              |   |          |   |  |     |      |       |
| 様々な専門的な技術を学ぶ   |  |              |   |          |   |  |     |      |       |
| <b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>   |  |              |   |          | <b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>  |  |     |      |       |
| ヘアメイク道具一式  |  |              |   |          |   |  |     |      |       |
| 日時   | 授業計画   |              |   |          | 日時  | 授業計画   |     |      |       |
| ①<br>(9/26)  | 【到達目標】小テスト2点<br>シラバス説明、前期を終えてアンケート。<br>様々な現場に必要な事を詳しく学び、理解できるようになる。<br>ハーフアップ実技/ウィッグ |              |   |          | ⑨<br>(11/28)  | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/ウィッグ<br>クラシカル系        |     |      |       |
| ②<br>(10/3)  | 【到達目標】小テスト2点<br>苦手な技術を学ぶ/ウィッグ  |              |   |          | ⑩<br>(12/5)   | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/相モデル<br>モード系          |     |      |       |
| ③<br>(10/10)   | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/ウィッグ<br>あみこみ、ハーフアップ                                     |              |   |          | ⑪<br>(12/12)  | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/相モデル<br>アイドルヘア        |     |      |       |
| ④<br>(10/17)   | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/ウィッグ<br>アップスタイル、下めルーズ                                   |              |   |          | ⑫<br>(12/19)  | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/相モデル<br>画像に合わせてヘアアレンジ |     |      |       |
| ⑤<br>(10/24)   | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/ウィッグ<br>アップスタイル、ポニーテールアレンジ                              |              |   |          | ⑬<br>(1/16)   | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/相モデル<br>画像に合わせてヘアアレンジ |     |      |       |
| ⑥<br>(10/31)   | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/ウィッグ<br>カチモリアップスタイル                                     |              |   |          | ⑭<br>(1/23)   | 【到達目標】3点<br>現場に合わせたヘアセット/相モデル<br>ヘアアクセサリーヘア        |     |      |       |
| ⑦<br>(11/7)  | 【到達目標】小テスト3点<br>現場に合わせたヘアセット/相モデル<br>ダウンヘア   |              |   |          | ⑮<br>(1/30)   | 【定期試験】60点<br>ヘアアクセサリーを使ったヘアセット/相モデル                |     |      |       |
| ⑧<br>(11/21)   | 【到達目標】小テスト5点<br>【中間チェック】<br>今までの中から選び、相モデルでヘアセット                                     |              |   |          | <b>【成績評価の方法と基準】</b><br>●小テスト40点/定期試験60点<br>●評価<br>A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)<br>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)<br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 |  |     |      |       |
| <b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>   |  |              |   |          |   |  |     |      |       |